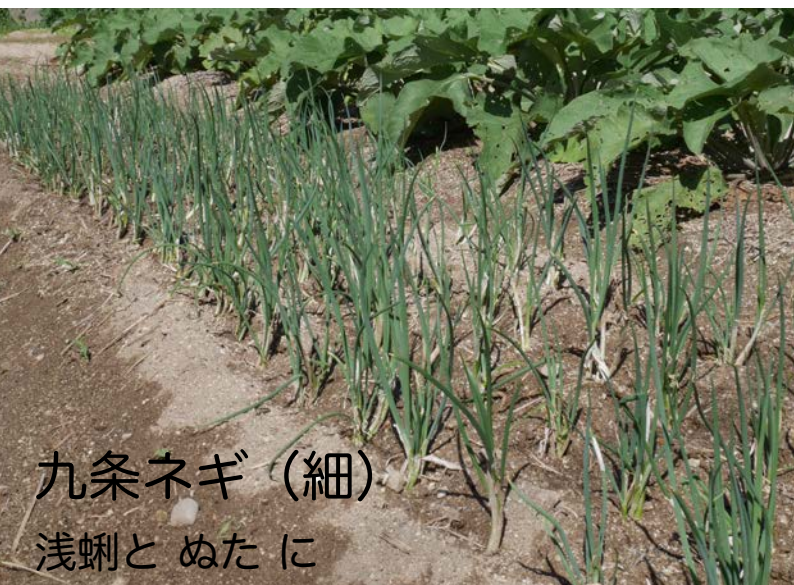


ヴァーチャルとリアルとセオリー



石割京大農園
Ishiwari Kyoto-univ. Farm

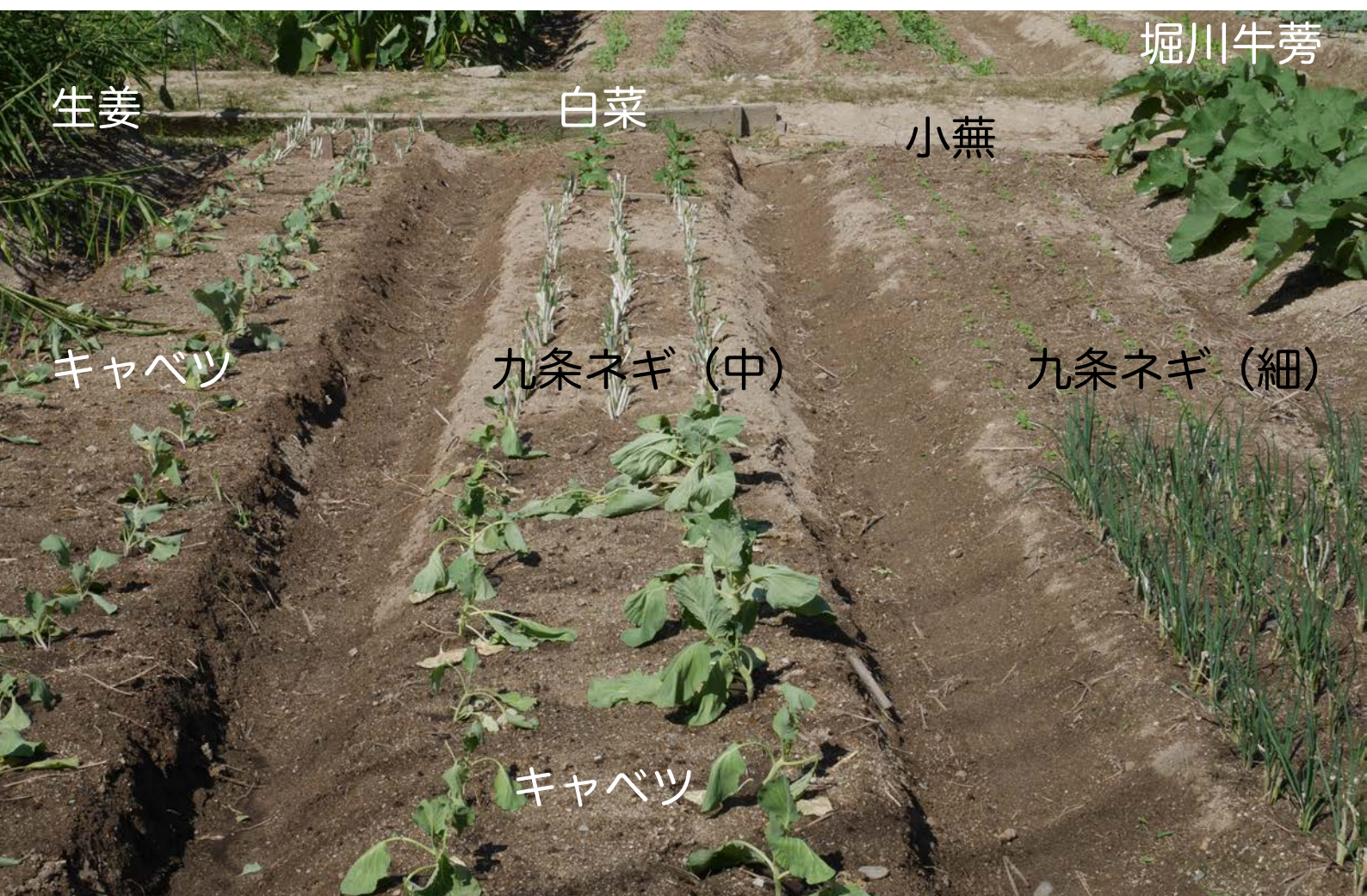


九条ネギ (細)

浅蜷とぬたに

”体験学習” (と呼ばれているもの) は美味しいところをつまみ食いするだけで本来の”学習”を阻害するものだ、との意見を聞くことがあります。さて、植栄研の学生が石割さんに教えてもらって野菜を作ることに”体験学習”以上の意義があるのだろうか？と自問していますが、石割農園で土作りとか品種の選定とか肥料の与え方とか農薬の使い方とかを教えてもらいながら、商品に

なるレベルの野菜が育っていくのを目の当たりにすると、われわれの”農学”がヴァーチャル農学に過ぎないことを痛感します。同時に、学習には受け手の好奇心や感受性が大切であることも、そしてそれを育てることが難しい。初秋の農園。



生姜

白菜

小蕪

堀川牛蒡

キャベツ

九条ネギ (中)

九条ネギ (細)

キャベツ